

9月26日(火)

造られし者、喜びの声をあげよ

聖書朗読 詩篇 98

全地はあなたを伏し拝み、あなたにほめ歌を歌います。あなたの御名をほめ歌います。
詩篇 66:4

神様の被造物の偉大さをいったい誰が表現することができるでしょう。言葉では十分表現することは出来ません。また、驚くべきあらゆるみわざについて、神様を称えるのに十分な表現があるのでしょうか。詩篇の著者によれば、神様のみわざはあまりに驚くべきもので、既にある歌の歌詞では表現することが出来ず、新しい歌が必要だとしています。どのような事でも、気付いたことで神様を称えましょう。自然界では、雄大な山々、淀みなく流れる川、波のうねる海など、それ自体が絶えず主をほめ称えています。

あらゆる被造物はその作り主を褒め称えます。詩篇の著者は私たちに、創造主を褒め称える喜びの叫びに加わるよう促しています。私たちは何を、そして誰を称えましょうか。誰にそして何に対して喜びの叫びをあげましょうか。立ち止まって、神の創造されたもの、救い、そしてやがてやって来る義の裁きを覚えて、主に喜びの叫びの声をあげましょう。

讚美歌 79

祈り 親愛なる神様、あなた様のあらゆるみわざの素晴らしさをどのように表現し、また、思い描くことが出来るでしょう。私たちの日々のことばや行いによって、あなた様を褒め称えるあらゆるものに加わらせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アール・D・ラベンダー
テネシー州 ブレントウッド

9月27日(水)

人生の旅

聖書朗読 詩篇 109

あなたの、この広大な荒野の旅を見守ってくださったのだ。

申命記 2:7

私たち夫婦は定年退職後モーターホームを購入し、国内を旅行したり、他の地へ引っ越した家族や友人を訪ねたりしています。これまでの私たちの旅は、山あり谷あり、そして多くの予期せぬ行き止まりや喜びがありました。まさに人生そのものを表わしています。

旅に出るときはいつも、目的地を決め必要な準備をし、自分たちの知識を結集してわくわくしながらルートを考えます。

何の問題もない旅はほとんどありません。たいていの場合、出発してそう時間の経たないうちにアクシデントや行き止まりに出くわしルートを変更しますが、すぐに行くべき道に戻ります。けれどもそうでない場合もあり、方向感覚を失い、止まって、このルートは果たして自分たちの行きたいところに向かっているのだろうかと再考しなければならぬこともあります。

キリストにある私たちの人生もこのような旅に似ているのではないのでしょうか。取るべき道は分かっているのに、時にその方向を見失ってしまうことはないのでしょうか。方向感覚を保っておくことは大切ですが、何より素晴らしいのは、私たちは自らのコースをリセットし、計画された方向に立ち返ることが出来るということです。私たちのお父様は絶えず、そのみ腕を広げて私たちが立ち返るのを喜んで迎えてくださいませ。

讚美歌 366

祈り 親愛なる主よ、人生という旅路を逸れずに歩ませてください。そしてあなた様の道から逸れてしまうとき、あなた様の道に戻ることが出来るようお導きください。イエス様のお名前によって。アーメン。

マジョリー・ジリス
ジョージア州 マリエッタ

9月28日(木)

主を恐れる

聖書朗読 詩篇 112

主を恐れることは、知恵の初め、これを行う人はみな、良い判断を得る。主の誉は永遠に堅く立つ。
詩篇 111 : 10

詩篇 112 篇を読むと、神様に忠実な者は豊かな人生を送ると記されているように思われます。恐れも、問題も、心が打ちひしがれることもなく、素晴らしい人生のようです。けれども実際はどうでしょう。

私たちは皆、恐れや問題に直面し、心が打ちひしがれることがあります。詩篇 112 篇はどのように理解すべきでしょう。初めの節に、主を恐れる者は祝福されるとありますが、主を恐れるとはどういうことでしょうか。これは理解が難しいことかもしれませんが、私たちは主に対し畏敬の念を持つべきことを知っています。神様は褒め称えるに値するお方であり、私たちそしてあらゆるものの創造主です。私たちの思いを専ら神様に捧げるべきであり、全身全霊で仕えるべきお方です。神様は私たちがどこへ行くにも共におられ、いかなる困難な状況にあっても共にいてくださいます。

人生には良い時も悪い時もあるでしょう。けれども私たちの傍らには神様がいてくださいます。よこしまな者の企みは失敗に終わりますが、神様に従う者は永遠に恵みを得ます。

讃美歌 338

祈り 天の神様。どうか私に、あなた様に委ねる心、寛大で優しく、全身全霊であなた様を愛する心をお与えください。イエス様のお名前によって。アーメン。

キャサリン・ナフ

オレゴン州 セーラム

9月29日(金)

塩味をきかせて

聖書朗読 箴言 12 : 13~19

あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。

コロサイ 4 : 6

私の父は母によく忍耐するようにと言ったものです。このことは母をイライラさせたようですが、父は確かにとても忍耐強い人で、私は父から多くの事を学びました。父が常日頃私に特に言っていたことは、真実を語ることの大切さでした。

父のかかりつけの医師は、父が健康そのものなので、長生きの秘訣やアドバイスを父に尋ねたほどです。それに対する父の答えは、「私が学んだのは、黙っていること」というものでした。この答えを私はいまだに時々思い巡らします。確かに多くを語るより多く耳を傾ける方が為になるのではないのでしょうか。

語ることも語らないこともどちらも大切です。適切に語るということは、ただ適切なことばを用いて適切なタイミングで語るというだけでなく、語るべきでないことを語ろうとするのを制することでもあります。舌を制しないと、例えば、噂話、他者をおとしめること、自慢話、ごまかし、偽りの教え、誇張、不平不満、お世辞、そして嘘を言うこととなるでしょう。語る前に、「これから語ろうとしていることは真実だろうか。語る必要があるだろうか。親切心から語ろうとしているだろうか。」と自分に聞いてみてください。

私たちが語ることを他者への愛で味付けすることを覚えるとき、他者にも「塩で味付けすること」を思い出してもらおうことができるでしょう。

讃美歌 339

祈り 親愛なるお父様。私たちの出会うあらゆる人に恵みがもたらされるように語らせてください。どれほど私たちの語ることばが大切であるかをお示しください。感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

ケイサ・ウィンサー

カリフォルニア州 サンディエゴ

9月30日(土)

疑いを取り除く

聖書朗読 箴言 12 : 21~23

利口な者は知識を隠し、愚かな者は自分の愚かさを言いふらす。

箴言 12 : 23

「一言も発することなく、愚か者だと思われる方が、すべての疑問を取り除く発言をするよりもよい。」箴言にも見られそうなことばですが、エイブラハム・リンカーンやマーク・トウェインの名言とされています。

この名言が箴言にもあるように思われるのは、箴言ではしばしば、黙っている者と、黙っていない愚かな者とを対比しているからです。箴言 21 : 23には、やや異なりますが関連した内容が記されています。「自分の口と舌とを守る者は、自分自身を守って苦しみに会わない。」

誰かが私に秘密を打ち明けるとき、私はその知り得た情報を、知恵を持って扱うと信じてもらえるでしょうか。私の判断をその人は信用してくれるでしょうか。もし私が噂話をしたり不平不満を呟いたりしない者であれば、私が信頼のおける人物であると確信してもらうことが出来るでしょう。私たちはこの格言を実践するなら、あらゆる疑いが取り除かれ、友人たちは私たちを信頼してくれるでしょう。

讃美歌 447

祈り 親愛なる主よ。私が誰かと語るとき、賢く責任感をもって振る舞うことが出来るようにしてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

アンドリュー・フィリップス
テネシー州 コロンビア

10月1日(日)

友を賢く選ぶ

聖書朗読 箴言 22 : 1~4

思い違いをしてはいけません。友達が悪ければ、良い習慣が損なわれます。

I コリント 15 : 33

親はたいてい、慎重に友達を選ぶよう子供に薦めるものでしょう。そのような薦めと同時に、慎重に選ばない場合にもたらされる結果についても警告するでしょう。

近頃のソーシャルメディアは、対話している相手を実際に知ることから私たちを遠ざけているように思います。ソーシャルメディアで友達を作るとき、個人的なメッセージも写真も、その人となりと正確に映し出すことは出来ません。これまで以上に、特にオンラインでは、関係を築く際に注意が必要です。

神様のみことばには、友を選び賢い選択をするようにという戒めが多くあります。「正しい者はその友を探り出し、悪者の道は彼らを迷わせる。」(箴言 12 : 26)、「暴虐な者は自分の隣人を惑わし、良くない道へ導く。」(箴言 16 : 29)。友を作ろうとするとき、永遠の命を覚え、私たちの歩みにおける神様のみこころに沿った選択をするべきです。

讃美歌 293

祈り 親愛なるお父様。私たちが決断をすべきとき、あなた様の知恵をお与えくださり感謝します。あなた様のみことばに従って賢い選択をさせてください。何より、私たちの主イエス・キリストを通して、私たちにお手本を与えてくださることを感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

セラーズ・S・クライン JR
テネシー州 ヘンダーソンヴィル